

神奈川県作業療法士会ニュース

神奈川県作業療法士会ニュース166号 目次

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1 巻頭言 | 8 【研修会報告】 第3回OT・PSW合同研修会 |
| 2 WFOT大会まで3か月を切りました！ | 9 「いまさらきけない？肩の評価・訓練」を終えて |
| 3 作業療法 写真展 開催！作品募集のお知らせ | 9 研修会案内 |
| 4 認知症の作業療法 後編 | 10 求人広告 |
| 6 理事会抄録 | 12 財務部からのお知らせ／編集後記 |
| 7 各部からの報告 | |

巻頭言

第15回神奈川県作業療法学会のテーマは「原点回帰」です！

横浜リハビリテーション専門学校 水島眞由美



2014年を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか？ 本年は6月に横浜の地で第16回世界作業療法士連盟大会・第48回日本作業療法学会が開催される予定となっており、日本においても横浜においても、またひとつ歴史的な幕開けとなる年になります。

こうした状況の下、来年の2015年4月19日、横浜リハビリテーション専門学校で、第15回神奈川県作業療法学会が開催される運びとなりました。

さて、1965年日本に理学療法士及び作業療法士法が施行され、はや50年を迎え、リハビリテーションにおける作業療法の検証や振り返りの転機となる年かと思えます。50年前と比較しますと、高齢化社会の進展にあわせて、作業療法士の有資格者数も6万5千人を超えて急増し、「作業療法」という言葉も各種メディアに流布され、その必要性や効果、認知度も高くなっているかと思えます。しかし、現在では、作業療法士の求人状況が増加しているのに対して、全国の養成校レベルでは入学定員割れをおこなっている現状や新人の作業療法士の質や品格を問われるという問題も抱えています。

そこで、今回の学会のテーマを、「原点回帰」～

作業療法の面白さを知ろう・伝えよう～で、既に県下の作業療法士の皆様に協力を頂いて、着々と準備を進めている状況です。本学会が、50年の歴史を振り返りながら、進化し続ける時代の流れに私たち作業療法士も乗り遅れないよう「温故知新」の精神で、まずは原点を振り返り、これからにつなげるひとつの転機になれば良いかと考えています。

駅や近郊の住宅地に近い地理を生かし、地域住民の方にも公開講座を行う予定であります。より一層の作業療法の啓蒙に繋がればよいと思います。また、ベテランの作業療法士の皆様は神奈川県内の作業療法の軌跡を再確認する、新人の作業療法士の皆様はこれまでの半世紀の礎をさらに発展させていけるよい転機になればと思います。適応力や発想力に優れた準備スタッフの力を借りて、作業療法の特性を生かした新たな試みも取り入れていきたいと思えます。

開催まで1年余りありますが、「光陰矢の如し」一日一日を大切に、県下の作業療法士の皆様や関係諸団体の皆様の御協力を得て、共にこの学会をさらに盛りあげ、新たなステージへと展開していきたいと思えますので、宜しくお願い致します。

WFOT大会まで3か月を切りました！

第16回WFOT大会2014 実行委員長兼大会副会長
山根 寛



早期参加登録が終わります！

神奈川県士会の皆さんには、大変お世話になります。“第16回WFOT大会2014”も開幕まで残すところ3か月弱になりました。皆さんのおかげで多くの準備が詰めの段階に入っています。お忙しい中で、「あっ！しまった」ということがないよう、早期の参加登録は、3月末が締め切りです。まだの方は、登録を済ませましょう。

これはチャンスです

アジア発のWFOT大会が港横浜で開催される。お願ひする立場の私が言うことではありませんが、これはチャンスです。本当に、神奈川県士会の作業療法士の皆さまには、大会運営をはじめ大変多くの手助けをいただいています。是非この機会を利用して、開催都市としての横浜や神奈川県における、皆さま作業療法士の活動を通して、大会期間中にいろいろな形で、公私問わず、海外からの参加者とさまざまな交流をしていただければと願っています。

これまでいくつかの国際学会に参加して感じたことですが、大会の企画はともかくとして、大会期間中の盛り上がりやその後の効果は、開催地の作業療法士の皆さんの力が大きく影響します。日本各地からの参加者による交流はもちろん大切ですが、やはり開催都市という地の利を活かした神奈川県士会の皆さんの交流が大きな力になります。作業療法の社会的認知を高め、日本の作業療法士の心と感性を技

術として世界に発信するまたとないチャンスです。ぜひ神奈川らしい、横浜らしいピーアールと交流を楽しんでください。

展示会場をうまく使ってください

今回の大会は、展示会場が広く、出展に必要な場所以外にかなりスペースにゆとりがあります。いろいろなパフォーマンスの応募もきています。それらを利用して交流の場としてどう生かすか、実行委員会としては神奈川県士会の皆さんのOTマインドにお任せします。これは、やはり地元の皆さんのアイデアと組織力に頼るのが一番だと思っています。どうか、楽しく世界の交流の輪が広がる場にしていだけばうれしいです。神奈川県士会の企画もいろいろ取り入れて、地元ならではの使い方があると思います。もうすぐです。大会当日もよろしくお願ひします。

さあこのチャンスを活かそう！

国際大会における言葉の問題は、これまでどこの国で行われたときにも見られました。そのためWFOTは前回のチリ大会から英語と開催国の公用語のバイリンガルでおこなうことを決定しました。そのため、ご存じのように第16回WFOT大会は日英のバイリンガルでおこなわれます。国際大会は自分と自国を見なおすチャンスです。言葉の壁を越えて、チャレンジしましょう！

応募開始

平成26年

4月

作業療法 写真展 開催！

作品募集のお知らせ



募集テーマ

作業 と 笑顔



学会期間中にパネル展示予定です！
もしがしたらコンテストになるかも？！

写真協力：一般社団法人神奈川県作業療法士会

アジアで初！日本で開催される第16回世界作業療法士連盟大会も間近となりました。
日本の作業療法を世界のOTに紹介したい！との思いから、写真展開催が決定しましたー！
作業を通したたくさんの魅力・何気ない作業の中に生まれる笑顔や、挑戦する姿—
レンズを通した、あなたの「作業と笑顔」が伝わるとっておきの一枚を募集します！

募集期間：平成26年4月～5月上旬（予定）

応募資格：作業療法士・学会参加者

撮影条件：テーマにそった写真であれば、過去の写真・これから撮影する写真、何でもOKです！

（対象者様が被写体になる際は、個人情報使用許可をお願いします）

デジタルカメラ撮影 最低100dpi以上。タテヨコは自由です。

（お持ちのデジカメの中で一番高いピクセルで撮影したものをお送りください）

応募条件：ファイル形式（JPEG）予定 主催側でパネル（A4程度）に

ひきのばすため、ファイルサイズは 2M以上

（会期終了後、ご希望にてパネル持ち帰りも可能です（予定））

応募方法：今後、随時学会HPに掲載予定ですので要チェックです！

WFOT 2014

検索

早期参加登録は3月31日締め切りです。登録はお早めに！

認知症の作業療法

～認知症介護指導者の立場から～ 後編

医療法人社団慈泉会 介護老人保健施設ひもろぎの園 作業療法士
石井利幸 先生

－（前編でお伺いしたように）石井先生は、認知症の方の生活に「当たり前作業」を取り戻すことを、とても大切に考えていらっしゃるんですね。

○その方にとって、普通で当たり前

私たちの認知症の方との関わりを見ると、お茶を飲んで、おしゃべりをして、まるで遊んでいるように見えるかもしれません。でも、その中には様々な意図を含んでいます。私は基本的に、その方にとって普通で、当たり前の場面を分析することが大切だと考えています。認知症の方の生きている世界と乖離してしまうような評価や関わりはあまり好きではありません。例えば、他の入所者と楽しくおしゃべりするためには、どのような認知機能が必要なのか、お茶を入れるときにはどうか。それを考えるためには、具体的場面の細かい評価が必要となります。そういった数値に表れにくい日常生活の評価に関して、非科学的であると思う方もいるかもしれませんが、実はテストバッテリーよりも、ずっと技術が必要です。

私が勤務する老健に入所している方の多くは、自分が施設に入所しているとは思っていません。姉の家に泊まりに来ているのだとか、ここは自分の職場（学校）で、用務員として働いている、といった「誤認」をすることで環境に適応しています。ですから、その方の生きている世界の中の「普通」に合わせた対応が大切です。よくありそうなのは、セラピストが突然やってきて、施設に入っていると、骨折したなどと思っていない人に対して、「今日も一緒に歩行訓練をやりましょうね」と言ったりすること。そんな風に、その方にとっての「現実」と乖離したことをしようとするから、うまく関われなかったり、拒否されるのです。セラピストが「リハビリらしいリハビリ」をすること程、認知症の作業

療法においてナンセンスなことはありません。

－認知症に関わるセラピストから、「リスクがあるから施設で提供できる作業が限られてしまう」、といった話を伺うことがあります。石井先生の施設やスタッフ同士では、リスクと作業のバランスについては、どのようにお考えでしょうか。

○作業を奪わないために、仲間と一緒に考える

常に「作業を奪わないように」と考えています。でも、「危ないから」「安全確保のために」と考えて、スタッフがいろいろな物品を撤去したり作業を奪う方向へと動いてしまう気持ちはよくわかるし、そう考えるのは当然なことだと思います。作業療法士の中には、「本当は〇〇すべきなのに、他のスタッフは全然理解してくれない」などと言って、スタッフに対して批判的になることがあります。それはある意味、卑怯なことだと思います。もしかしたらOTだって、ケアのスタッフと同じ立場で、忙しい中でリスクを減らすためには、作業を奪うような行動をとってしまうかもしれない。OTが「こうやるべきだ」と押し付けるのではなく、スタッフ全員でどうやっていくか、を考えるような環境作りが大事ですね。

本当は大切だと思っているのにできていない作業を、「そういうことって大切だよ」「どうやったら安全にできるかな」といった形に、如何にして、みんなで行っていかせるかが重要です。「OTだけがいいことしている」といった形ではなく、みんなが良い方向に進まなくては。もし、これを読んで頂いているOTの方で、チームアプローチでとても苦労している人がいるのなら、まずは同じ考え方の仲間を増やして、長い時間をかけて、地道に現場の意識や行動を変えていくのがよいと思います。（前編でも言いましたが）私の施設では、入所者の方が、飾っているお花をちぎって口に入れたとしても、花を飾ることを止めようとはなりません。せいぜいお腹壊していないか注意して見ておこうねとみんなが話す位です。

－認知症介護指導者として多くのリハスタッフと関わりをもつ機会があると思いますが、相談などを受けることもありますか？

○認知症のリハビリって、何をしますの？

私は、認知症介護指導者として（作業療法士として？）福島県内外でのリハ職を対象とした認知症の研修で講師を務めることがあります。どこにいても、PT・OT・STの方々から相談を受けます。すると、「認知症のリハビリで、何をしても良いかわからない」と困っている方が多いのです。もしかしたら、認知症短期集中リハビリテーション実施加算ができたことで、かえって皆さんを困らせているのかもしれません。話を聞いてみると、「専門的なリハビリテーションをしなくては」と考えるが故に、認知症の方の主観的な世界と、全くズレたリハビリ内容を提供してしまっていることが多いようです。我々でもやりたくないような、難しい課題を無理にやらせようとするれば、当然、拒否をされることもあるでしょう。その状況で、どうにか一対一で20分間関わって……。それはきっと、認知症のご本人にとっても、セラピストにとっても辛い状況でしょうね。

これも、認知症の方にとっての「普通で当たり前」の生活から、かけ離れたことをしようとするから起こ



石井利幸 先生

profile

栃木県の国際医療福祉大学卒業後、H12年に現職場である介護老人保健施設ひもろぎの園に入職。現在は、リハビリテーション科長として認知症専門棟を担当し、認知症ケア全体をコーディネートしている。また、認知症介護指導者として福島県認知症介護実践研修、認知症介護指導者養成研修等で講師として活躍中。

ることであることをお伝えしています。もちろん難しい計算問題などでも、楽しんで取り組む方にならないでしょうが、そうでない方にはかえってマイナスになってしまうことでしょう。

ーリハビリの効果を明確にしたい、というセラピストの思いが、生活から乖離するようなりハビリに繋がってしまい、でもそれがうまくいかないという悪循環を起こしていることもあるのですね。

○何でもかんでもOTの治療効果？

認知症の方は、施設に入所した直後や、デイケア等のサービスの利用開始直後には、とても混乱して、BPSDが強く表れることがあります。これは当然の反応で、しばらくすると自然と落ち着いてくるものです。そういった時に、「OTが関わったことで落ち着いてきました」と言いたくなるかもしれませんが、それは本当かなと疑問に思ってしまう。認知症のご本人は、その環境の中で、もがいてもがいて、やっと安定した認識を手に入れます。このようなもがいた後で手に入れることができるのが「誤認」の世界です。認知症の方々も、懸命に環境に適應しようと努力していることも、忘れずにいてください。本当に「OTが介入したから改善した」のか、自然な経過なのかよく考える必要があります。その上で、作業療法の関わりや効果を考えてみるといいですね。

ー実際には、認知症ケアに関わる人のほとんどが、OTではないですよね。その中で、OTがどのように働くべきだと思いますか。

○OTは、他職種は関わり方がまずい！なんて簡単に言っていないか？

BPSDは環境との相互作用の中で生じます。特に介護者がどんなふうに認知症の方と関わるのかが重要で、これがまずければまずいほど、BPSDは大きくなります。ではOTは、このような（特に）人的な環境面にどれだけ働きかけているのでしょうか？ OTが他の部署（病棟や入所のフロアーなど）になかなか物申せない状況にある場合、他職種の関わりが悪い！などと非難しつつ、OTが関わる時間だけ、ご本人を生活と乖離した状況の中で、“特別な”課題を提供して、良いことをやった、なんて思っている。そしてまた、病棟に戻ってもらうような、そんな作業療法が展開されているのではないのでしょうか。生活のベースに存在するマイナス要因を取り除くことなしに、切り取った時間の中で何かを提供すれば、BPSDが軽減するのでしょうか？これはADLやIADLなどの支援においても同じことが言えると思いますが、その非日常的なOTの時間の中だけで、認知症の方に対するOTが良かったか悪かったかと考えたとしても、あまり本質的なアプローチには成り得ないと思います。もしかすると表面的なアプローチになっているかもしれません。かといって、他職種は関わり方がまずい！と上から目線で他職種にアドバイスするなどということも控えたいものです。先ほどの「作業を奪わないために」のくだりでもお話ししたように、そのスタッフの立場になって考えることが必要です。悪人だから悪い関わりをしているわけではありません。認知症の対象者をアセスメントするのと同じように、スタッフがどうしてうまく関われない時があるのかもよく分析した上で、他職種へのアドバイスなどを行うことが大切です。このことを踏まえつつ、生活場面に入り

込んでどのように振る舞うべきかを考えていければよいと思います。

○認知症の作業療法は、すでにOT以外の人々によって行われている？

私は認知症ケアに秀でたOT以外の職種の方々のお付き合いが多いので、皆さんの素晴らしい実践をよくお聞きしています。皆さんに共通していることは、認知症の方がうまく行えなくなった作業を、生活の中に丁寧にちりばめ、残存能力を發揮してもらったり、役割を作ったり、自尊心や満足感を高めたりしています。こう考えると、「認知症の作業療法」は、既にOTではない人々の手でずいぶん前から行われているのです。もう既に他職種の方々が、意識せずに「作業療法」を展開し、かなりの効果を上げているのです。もしかすると、我々OTが入り込む余地はないかもしれません。私たちOTは、自分達の職種の中だけで認知症のリハビリを考えるのではなくて、認知症ケアの全体にもっと目を向けていくとよいと思います。その上で、OTが関わると、より効果的な支援ができると感じてもらえるようになりたいものですね。

ー最後に、神奈川県OT士会の若手OTの皆さんにメッセージをお願いいたします。

○問題はどこにあるのか

医療の領域での経験が長い人の中には、認知症を「治療」しようという意識が強いような気がします。それは、あたかも問題は認知症の方にある、というように問題を本人に帰属させます。だけれども、実は、医療者側の要因、自分達がどれだけ問題を引き起こしているか、ということを見直していかなくてはならないと思います。拘束の例などを考えれば分かりやすいと思いますが、危ないから仕方ないなどと最も理直い理由をつけて手足を縛っておいて、それは自分たちには問題はなく、認知症だから仕方ないといった発想が誤っているのです。BPSDの引き金になる関わりは、誰でも気付かないうちに作っているものです。自分自身の行動、自分の現場についても今一度見つめ直してみてください。

○生活に根差した認知症の作業療法

生活に根差した作業療法をしていただきたいですね。その方の普段の生活のどこに、どう役立つのかを考えてください。テストバッテリーの点数が上がることは素晴らしいことで、間違いなく効果はでていますが、それで生活は変わるのでしょくか？認知症の方の多くは作業が取り上げられている状況にあるので、作業を再適應することによって、状態が落ち着いてきます。作業療法では、レクリエーションももちろん結構だけれど、しっかりと生活、ADLやIADLなどの生活に根付いた作業に目を向けてください。それらを通して、認知機能を賦活させることは十分できると思います。その方にとって、普通で当たり前の生活をしっかりと見ていきましょう。

ー貴重なお話をありがとうございました。

（文責：地域リハビリテーション部 河村）

理事会 報告

平成25年度 第5回 一般社団法人 神奈川県作業療法士会理事会 抄録

日時：平成26年2月6日（木）19:00～21:30

場所：神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：渡邊、錠内、中西、内山、奥原、木村、作田、鈴木（孝）、鈴木（久）、出口、沼田、野々垣、福留、三浦、吉本、澤口

委任理事：なし 出席監事：浅井、清宮

その他：小峰（広報部ニュース班）、酒井（広報部対外班）、金山・本郷（事務局書記）

●事務局（澤口事務局長）

①渉外関連

- ・神奈川県保健福祉局福祉部高齢者社会課より「介護予防事業ワーキンググループ」の委員派遣依頼⇒木村理事（地域リハ部）
- ・神奈川県リハビリテーション協議会連携指針検討部会 H25/12/20 木村理事出席（渡邊会長代理）
- ・医療専門職連合会の運営について
次年度の会長は神奈川県士会。定款上の任期は1年、慣例により2期（2年）行う。これに伴い常務理事、事務局長、会計部長の選出が必要。三役会にて検討し、会長（渡邊会長）、常務理事（錠内副会長）、事務局長（澤口事務局長）、会計部長（名古屋事務局次長）に決定。2/14で現事務局の放射線技師会へ報告。書記等の運営は事務局で行う。
- ・平塚市より障害者総合支援法における市町村審査会委員推薦依頼 事務局にて現職の片野氏（高根台病院）を本人の希望もあり継続して推薦した。任期2年。H26/4～。

②後援名義使用依頼⇒すべて承認

- ・第49回日本理学療法学会（日本理学療法士協会）
日時：H26/5/30（金）～6/1（日） 場所：パシフィコ横浜
- ・第7回特定施設研究大会（かながわ福祉サービス振興会）
日時：H26/2/21（金） 場所：横浜市開港記念会館
- ・かながわ地域リハビリテーションフォーラム（神奈川県総合リハビリテーション事業団）共催依頼 日時：H26/2/8（土）
場所：かながわ労働プラザ
- ・日本発達系作業療法学会第2回学術大会（日本発達系作業療法学会）日時：H26/3/29 場所：県立保健福祉大学
- ・「専門職連携による住宅改修」研修会（神奈川建築士会技術支援委員会福祉部会）日時：H26/3/21日（土） 場所：はーと友神奈川多目的研修室

③周知依頼 ⇒HPにて周知

- ・県西地区リハビリテーション連絡協議会リハビリフェスタ2014
- ・日本コミュニケーション障害学会「第44回講習会」～達人に学ぶ、認知行動療法のツボ～
- ・第7回神奈川県特定施設研究大会

④OT協会関連⇒研修会等周知依頼 ⇒ HP等にて周知

- ・認知症初期集中支援チームに対する作業療法士のための研修会
- ・障害福祉領域における作業療法（士）の役割に関する意見交換会（主催：協会制度対策部障害保健福祉対策委員会）
- ・チーム医療推進協議会主催「チーム医療による災害支援—多職種連携の推進に向けて—」大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会との共催セッション「災害とリハビリテーション」⇒今後、災害に関する研修会は県士会として事務局からも参加者を出していく。

⑤庶務関連

- ・研究に辺り会員情報提供について
昭和大学大学院所属の正会員より研究にあたり、県士会会員の「氏名」「勤務先」「勤務先住所」の以上3件の情報提供の申し出が文書にてあり、研究の倫理性や情報の保管、利用の範囲、破棄の方法等も含めきちんと管理されており、個人情報管理規程に準じ、事務局長が許可した。

⑥賛助会員Bの入会申し込み3件あり ⇒ すべて承認

- 作業療法総合研究所（SIG団体）、株式会社モノ・ウェルビーイング、医療法人社団のう救会 脳神経外科東横浜病院

⑦会員動向（H26/12/31現在）

- 正会員数：1871名。12月入会者は18名（新規16名・他県からの転入2名）。会費納入率は67.29%で昨年の同時期である

80.69%に比べ下がっている。

⑧代議員選挙及び代議員会について

- ・代議員選挙に伴い、選挙管理委員会を事務局内に設置。事務局において、任意に選挙管理委員の選出を行い、以下、5名の方を推薦。⇒理事MLにて1/14より審議され承認。
佐藤拓也（法務省保護観察所）、山岡 洸・福島ひとみ（佐藤病院）、佐藤範明（紫雲会横浜病院）、芳賀吉朗（武田病院）以上5名から互選により佐藤拓也氏が選挙管理委員長となった。
- ・代議員選挙の公示
1月号ニュースに同封。立候補受け付け締め切りは2月14日（消印有効）。受付締め切り後のスケジュールも確認。
- ・代議員会（仮称）の日程（案）⇒承認
日時：H26/5/17（土）14時～ 場所：横浜市内（予定）

⑨検討事項

- ・医療専門職連合会総会 総会役員の選出について
日時：H26/3/28日（金）18:30～
場所：中外製薬株式会社横浜支店会議室
議事録署名人名2名の選出 ⇒ 事務局で検討
- ・休会制度（案）について
目的：会員の福利及び利便性の向上。諸事情に伴う会費未納者の軽減。臨時総会にて会員より創設の意見があり、協会の制度をもとに事務局としてたたき案を作成した。承認が得られれば次回の理事会にて最終案を確定させ、早ければ次年度から運用したい。継続審議。

●財務部（野々垣理事）

①口座振替手続きについて

- 会員数1,870名（4年以上未納者100名含む）のうち、口座振替用紙が提出されている方が1,341名、未提出は529名。まだ手続きを完了していない会員に再度口座振替用紙を2月に発送する。

②会費納入を銀行口座に振り替える件について検討

- 銀行口座引落しの手続きをしていない会員から手続きをしない理由として、「職場が支払っているため個人からの引落しはできない」「個人情報の観点から個人情報を知られたくない」などの理由が挙がっている。そのため今後も郵便局への振込を希望している。2月に再度口座振替用紙を送付する際に、郵便振替の希望と理由の確認は必要か。また、郵便口座振込用紙の同封についても検討が必要か。

⇒臨時総会後に銀行口座の手続きが143件あり、会費納入率が77%まで上がっている。会費を納入しないと退会になることを何度も告知する必要はある。原則銀行振り込みであるため、事情でそれができない人には諸費用800円の支払いをお願いする旨連絡する。

・WFOT積立金とWFOT準備金の用途について

- 託児所の案が出たのでまず状況をOT協会に確認。またOT学生交通費に関しても大会から出してほしいと交渉する。当士会の経済状況を考えると、今後の運営費に回していくことも念頭に置いて、3月まで継続審議とする。

12. 企画調整委員会（鈴木孝理事）

- ・社団法人神奈川県作業療法士会次期4か年計画について
中期計画の7項目でよいか検討する。またこの7項目が、各々が検討する事業計画に当てはまっているか見直す。2月20日までにメールで鈴木理事へ。また、今後の長期計画として公益財団法人化を掲げるかどうか、3月の理事会で規約委員会の鈴木理事より意見を補足してもらう。3月の理事会で再検討。

※紙面の都合で一部割愛・詳細は県士会Webへ（文責：澤口）

各部からの報告

教育部

○連載!

県士会ウェブサイトから質問ができます!

「お届け!生涯教育制度、あれもこれも」

年度末、間もなく新年度ですね。移動もあったりしてあれこれです。そのスタートの前に皆さんの生涯教育制度の進捗を改めて確認して、来年度の目標を立ててみませんか。また再開するのは勇気がいりますが、そういう人が増えてきました。

以下いくつか考えられることを書きますので、ぜひ生涯教育手帳をご確認ください。

1. そう言われても自分の現状がわからない。どうすればいい?!

→心配御無用。教育部までご連絡ください。次に行うことを一緒に検討しましょう。

2. 貼っていないシールがある。

→すぐに貼って月日や内容をご記入下さい。

3. 研修会の参加証明書や県士会役員や部員、事業の当日運営委員等の委嘱状がある。

→県士会事務局へポイント手続きする(参加証明書、委嘱状、手帳、OT協会会員証コピー、切手貼付・宛名明記の返信用封筒を県士会へ送付してください。

4. 基礎研修がまだ終わらない。

→まずは現職者共通、選択研修の修了、50ポイント取得して手続きへ。

5. 基礎研修は修了しているが、この先が・・・。

→基礎研修修了期間内に認定作業療法士取得を目指しましょう。ちなみに申請には50ポイントは不要です。

→認定作業療法士の申請に至らなくても、5年以内に50ポイントたまったら基礎研修修了の更新をOT協会に申請して下さい。

7. そんなこと言っても、全然わからないんだけど・・・。

→いつでも以下にお問い合わせください。また県士会ウェブサイトの生涯教育制度コーナーからも質問できます。

8. あと、新人OTたちに協会と県士会の紹介と入会を勧めてください。そして生涯教育制度を利用した自己研鑽を促してください。

<問合せ先>教育部 奥原孝幸

昭和大学保健医療学部作業療法学科kyoiku@kana-ot.jp,045-985-6588 (直)

地域リハビリテーション部

○訪問リハ実施施設の掲載

県士会ウェブサイトに「地域リハの”わ・輪・和”」というコンテンツを掲載しています。

<http://kana-ot.jp/wpm/cbr/>

その中に”訪問作業療法実施施設”をみなさまの協力のもと掲載いたしております。

昨年度から作業療法士の所属施設のみならず、理学療法士や言語聴覚士の所属施設も掲載するように適用範囲を拡大いたしました。

神奈川県民への有益な情報源ですので、未だ掲載していない事業所の方々には是非ともご協力をお願い申し上げます。

○生活行為向上マネジメントの普及活動について

「生活行為向上マネジメント」を普及するため、各施設・事業所にて説明会を実施いたします。ご希望される場合

は詳細をお知らせいたしますので、必要事項を記入のうえ、下記宛にEmailにてご連絡ください。

宛先: chiikireha@kana-ot.jp

地域リハビリテーション部 木村宛

件名: 「生活行為向上マネジメント説明会希望」

内容: 1) 所属施設名

2) 所属施設住所

3) OT部門代表者

4) 窓口担当者

5) 連絡先TEL

6) 連絡先Email

7) 所属OTの人数

8) 希望日時(複数指定)

(文責: 地域リハビリテーション部 木村)

福祉用具委員会

○福祉用具相談支援システムについての紹介

①福祉用具相談支援システムとは

簡単に説明すると、県士会員の皆様からの質問を神奈川県相談アドバイザーの私たちが、Web(インターネット)を通して福祉用具に関する相談に答えるものです。

インターネット検索で「福祉用具相談支援システム」と検索すると出てきます。(URLは<http://www.jaot.info/>)

今回は、登録方法の流れもご紹介します。

(1)まずは、全員が共通の登録用のIDとパスワードがあります。

ログインID: yokaot パスワード: ototを入力し、利用者登録をします。

(2)次に、個別のログインIDとパスワードを登録して相談が可能となります。

(個別のログインIDは協会会員番号となり、パスワードは登録時のEメールアドレスになります。)

*協会に入会していなければ利用登録ができませんのでご注意ください。

(3)相談項目を入力し、相談開始です!

②相談利用の際のワンポイントについて

相談する際に文字(言葉)だけでは、細かい点などを伝えることが難しい状況がありますよね。

そのような場合でも大丈夫です。相談項目の欄に、デジタルカメラで撮影した写真を添付して相談していただくことが可能となっております。

相談項目欄の、「ファイルアップロード」という欄から添付が可能となっております。(写真は3枚まで添付可能。)より詳しい情報を頂けると、私たちアドバイザーも相談時の対応として情報提供が行いやすくなりますので是非ご活用ください。

今後ですが、福祉用具相談支援システムの利用をしやすいようにするため、県士会員の皆様にもっと相談しやすい環境を準備していきます。

患者さんの生活をサポートするために、大きな力を発揮する福祉用具たち。OTにとっては強力な武器の一つです。でも、数ある製品を患者さんの状況に応じて使いこなすのは至難の業ですね・・・「誰かに相談してみたい!」「もっとよい支援を考えたい!」「何かいい製品はないかな?」そんな困ったときは、気軽に福祉用具相談支援システムを利用してみてください!

【研修会報告】 第3回OT・PSW合同研修会

第3回神奈川県作業療法士会・神奈川県精神保健福祉士協会合同研修会（OT・PSW合同研修会）が8月31日、上大岡駅前のウィリング横浜で開催されました。この研修会は「精神障害者を地域で支える」をテーマに「チームアプローチ」「多職種連携」「地域リハビリテーション」などをキーワードに取り組んでおり、神奈川県精神保健福祉士協会と共催運営させていただくのは今年で3年目になります。また今回は、日本精神科看護技術協会神奈川支部の協力もいただき、看護師の参加を募集することができました。

研修会は、午前中が講義形式、午後は実践報告とグループワークとなっており、今回の講師には日本で最初のACTチームであるACT-JのチームDr.であり国立国際医療研究センター国府台病院の吉田衣美医師をお招きして、連携とチームアプローチについて講演をしていただきました。

ACTの理念はサービス利用者の「リカバリー」を信じて、エンパワメントと自立を念頭にストレングス（長所や強み）を最大限に活用していくことです。ACTのチーム内、外の連携について多機関・多職種が協働していく際の工夫点や大切にしていることとして挙げられたのは「チーム内の目的・目標を統一していくこと」であり、当たり前とも思われますが「ミーティングで情報をすり合わせていく作業」の大切さを強調されていました。

ACT-Jの利用者は現在77名でサービス利用者の主治医はすべて吉田医師であるため、情報共有及び管理面でも大きなメリットがあるとのことでした。

午後の実践報告では神奈川県精神保健福祉士協会事務局長の石川孝行氏をコーディネーターとしてお迎えし、アトトリハ新城の作業療法士の松崎美保子氏から「精神科訪問看護の活動報告」、横浜市生活支援センター西の精神保健福祉士の片岡恵美氏からは「生活支援センターの活動報告」、曽我病院の精神科看護専門看護師の田代誠氏からは「地域支援の実際として」3職種、様々な職域から実践報告をしていただきました。実践報告の後はグループに別れて本研修のキーワードに沿った活発な意見交換が行われました。

参加者のアンケートの中で「良かった」と多くの

意見が挙げられていたのは「他職種の視点や考え方が聞けた」という意見でした。作業療法士の視点は精神保健福祉士や看護師の参加者に有意義であったようで、反対に作業療法士の参加者も同様の思いであったのではないのでしょうか。一方で残念な意見もあり、そのひとつに退院前のケア会議などに作業療法士に声が掛かることが少ないという意見も聞かれました。普段の業務で一緒に仕事をしていても多忙により、また組織上の様々な制約があったり、同じ所属や部署であるのに率直な意見交換がしにくかったりと「連携」を阻害する様々な要因が現場にあることは誰もが感じていることであると思います。

近頃、地域精神保健福祉の相談には、従来からの統合失調症の支援モデルでは対応が難しい「様々な要因が複合している困難さを抱えた方々」の相談が増加しています。そのような方たちの地域生活を安定かつ充実させていくためには、アウトリーチによる支援やチームアプローチによる多職種支援がますます重要になると思われます。その中で、精神保健福祉士や看護師は活躍の場を広げていますが、作業療法士はいかがでしょうか。私たちは医療面の知識も生かしながら利用者を取り巻く環境面を中心としたアセスメントに基づくアプローチをしていくなど、職種の強みを発信して行くことが大切であると思います。しかしながら、チームによる支援である以上、利用者の生活に寄り添いつつ、幅広い生活ニーズに対応できる力量を身につけていくことは、どの職種にも共通していえることです。地域でチームの一員として求められているものは、職種の強みと併せて、多岐にわたる相談に対応できる「知識や技術の引出しを増やしていく」ことが重要ではないでしょうか。

今回の研修会の参加者数は講師・スタッフ含めて57名（作業療法士29名、精神保健福祉士22名、看護師4名、理学療法士1名、精神科医師1名）とたくさんの方々にご参加いただきました。今後も神奈川県精神保健福祉士協会また他団体とも連携を取りながら、充実した多職種による研修会が実施できるように取り組んでいく所存です。

（文責：地域リハビリテーション部 原島）

「いまさらきけない？肩の評価・訓練」を終えて

平成26年1月26日、横浜市立大学附属市民総合医療センターの鴻井建三先生より「いまさらきけない？肩の評価・訓練」の講習会が開催されました。この講習会は毎年応募多数のシリーズで、今回も150名を超える応募がありました。何とか多くの県士会員が受講できるように定員50名のところを57名の会員を厳選し実施させて頂きました。

講習会では、肩の基本構造の理解、筋の触診、関節可動域、姿勢、生活動作などの評価・介入のポイントについての講義・実技が行われました。実技は3人1組のグループで行い、スタッフの方が近くにいるため質問もしやすく、楽しく和やかな雰囲気で行っていました。実技はすぐに取り入れられるものばかりで「さっそく実践してみました！」という方も多かったのではないのでしょうか。また、普段使用している訓練道具についても、「こんな使い方があるのか」と新しいアイディアを頂きました。さらに、運動の質だけではなく量も求めることが必要であり、自主トレーニング指導の大事さを感じました。



今回、中枢疾患・運動器疾患に関わらず、解剖学・生理学・運動学の基礎的な知識が臨床を行う上での鍵となり、理論的に活用することで根拠のある作業療法が展開できることを改めて痛感する機会となりました。

各病院・施設でぜひ伝達講習を行っていただき、知識・技術を共有し合って明日からの臨床に生かしていければと思います。

(文責：横浜旭中央総合病院 里原)

研 修 会 案 内

実践！認知症ケア研修会2014（横浜会場）

主催：日本通所ケア研究会

日時：2014年3月23日（日）10：00～17：00

場所：ウィリング横浜（神奈川県横浜市港南区上大岡西1-6-1）

HP：<http://www.tsuusho.com/ninchisyokea/>

2013年度 脳外傷の作業療法講習会

主催：脳外傷の作業療法研究会

日時：2014/3/1（土）、2日（日）

場所：神奈川リハビリテーション病院

第12回作業療法地域連携会@sagamihara研修会

主催：作業療法地域連携会@sagamihara

日時：平成26年3月13日（木）19：00～21：00

【受付18：30～】

場所：ユニコムプラザさがみはら セミナールーム2『大腿骨頸部骨折の治療』

無料シンポジウム「認知症の方の暮らしに役立つ福祉機器、日用品などを普及するために」

主催：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（厚生労働省老人保健健康増進等事業）

日時：2014年3月2日（日）13:30～17:00（開場13:00）

場所：三菱UFJリサーチ&コンサルティング 24階 セミナー室

HP：http://www.murc.jp/seminar/murc/t_140302.pdf

作業療法の歴史を紐解く～診療報酬点数化の経緯や生活療法批判から

主催：昭和作業療法卒業教育セミナー

日時：平成26年5月18日（日）12:30～受付開始 PM13:00～14:30を予定

場所：昭和大学保健医療学部（横浜キャンパス）

CIセラピーのすべて-成人と小児のCIMT・上肢と下肢のCIMT・重度麻痺手のCIMT-

主催：神奈川県作業療法士会 学術部

日時：2014年3月30日 10:00から16:45

場所：ウィリング横浜12F研修室121・122 京急線・市営地下鉄上大岡徒歩数分

第26回日本ハンドセラピィ学会学術集会 ～開催と事前登録のご案内～

主催：日本ハンドセラピィ学会

日時：平成26年4月19日（土曜日）

場所：沖縄コンベンションセンター 劇場棟（沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1）

HP：26th-jhts@hakutokai.jp



求人

作業療法士オープニングスタッフ 募集

平成26年5月、川崎市に初めて認知症疾患専門病院をオープン致します。認知症専門病院として介護や福祉と連携し、早期復帰を目指した全国に誇れる新しい病院を一緒に創っていきませんか。

施設概要 病床数300床（全認知症専門病床）
 認知症デイ・ケア
募集人員 常勤 若干名（オープニングスタッフ）
給 与 当院規定により優遇致します。
 昇給年1回 賞与年2回
勤務時間 8:30～17:30 土曜 8:30～12:30 ※予定
休 日 日・祝・土（午後）、1週40時間内による
 病院指定休、年末年始等
応募方法 電話連絡の上、履歴書（写真貼付）、免許証（写）を下記準備室まで郵送ください。
アクセス 東急田園都市線たまプラーザ駅、溝の口駅、小田急線柿生駅、新百合ヶ丘駅等からバス バス停より徒歩1分
 ※田園都市線あざみ野駅より職員送迎バス予定
担当者 開設準備室事務長 国井 弘 善
 〒216-0013 川崎市宮前区潮見台20-1

かわさき記念病院開設準備室

電話 044 (977) 8877

FAX 044 (977) 0505

E-Mail info@khh.ne.jp

医療法人花咲会 かわさき記念病院

神奈川県川崎市宮前区潮見台20番1号



求人

作業療法士募集

施設概要：病床114床、一般、障害、亜急性期病床
標榜科目：内科、整形外科、脳神経外科、神経内科、皮膚科、眼科、精神科

応募資格：作業療法士免許を有する方

雇用形態：常勤職員

募集人員：1～2名

待 遇：法人規定により決定、経験考慮有

勤務時間：月～土 8：30～17：30（月を平均して1週40時間以内勤務）

休 日：日曜・祝日・指定休（週40時間調整の休日）

応募方法：電話連絡又はメールにてご連絡の上、面接日時調整致します。

問合せ先

医療法人 三星会

大倉山記念病院

〒222-0001

横浜市港北区樽町1-1-23

TEL045-531-2546 FAX045-531-2540

担当者 総務課 渡邊

e-mail watanabe@ymg.gr.jp



求人

ケアーズ訪問看護 リハビリステーション橋本

募集職種：作業療法士（常勤）（非常勤）

募集人数：若干名

資 格：要資格、普通自動車免許

勤務内容：訪問リハビリ。お客様のご自宅へ伺い、訓練・指導を行います。

勤務時間：【常 勤】平日 8：30～17：30

【非常勤】平日シフト制（1日1時間～でも可※要相談）

休 日：土日祝日。年末年始

待 遇：【常 勤】月給25万円～（面接時に相談可）

【非常勤】時給1,000円～3,500円

社保完備、交通費支給、制服貸与

勤 務 地：相模原市緑区西橋本1-27-12

日本医薬会館2F 201

連絡先：042-700-0024

担 当：採用担当 国吉

メールアドレス：ricky@ocs-co.jp

URL：http://kango-rehabili.com/

訪問リハビリスタッフ大募集です！！

ご質問や興味のある方、まずはご連絡ください！



求人

作業療法士募集

募集人数 常勤 1名

施設概要 介護老人保健施設さくら（100床）・さくらサテライト（29床）他

勤務内容 入所・通所リハ等の利用者様へADL向上に向けたリハビリテーション

給 与 当法人規定により優遇

昇給年1回・賞与年2回

福利厚生 各種社保完備、退職金制度有り

勤務時間 8：45～17：45

休日休暇 土日他 週休2日制 特別休暇10日

有給休暇 年間休日114日

応募方法 電話連絡の上履歴書を下記宛に郵送

交 通 小田急本厚木駅よりバス35分、矢崎バス停下車徒歩2分

医療法人 聖和会

介護老人保健施設さくら

〒243-0215 神奈川県厚木市上古沢1915

TEL：046-250-0600 FAX：046-250-0511

担当 総務 村瀬

E-mail shien.sakura@juno.ocn.ne.jp

http://goto-seikei.net/



求人

作業療法士募集

募集人員 常勤 2名 (非常勤: 応相談)
 業務内容 通所・短期入所・施設入所者への
 リハビリ業務
 施設概要 老健 150床
 通りハ 45名
 給 与 当法人規定による
 勤務時間 8:30~17:30
 休日休暇 4週8休(年間休日111日+夏休3日)
 応募方法 電話連絡の上履歴書持参
 又は下記宛に郵送
 交 通 京浜急行線 能見台駅下車 徒歩8分
 ★通勤便利! 明るく楽しく働ける職場です★

医療法人社団孝和会

介護老人保健施設 能見台パトリア

〒236-0058神奈川県横浜市金沢区能見台東10-1

TEL: 045 (790) 5733 担当: 総務 佐々木



求人

作業療法士募集

新しい訪問看護リハビリステーションであなたの力を必要としています。

募集人員 常勤訪問専任1名 (OTあるいはPT)
 非常勤訪問専任1名
 (OTあるいはPT)
 待 遇 当院規定により優遇。
 月給280,000~
 時給2000円~or訪問単価4000円~
 昇給年1回。業績連動賞与。
 勤務時間 9:00~18:00
 休 日 土日祝、有給休暇、年末年始、特別休暇等
 そ の 他 研修会奨励
 営業実績手当
 車通勤可能
 応募方法 随時電話連絡の上、履歴書郵送願います
 担 当 者 高橋、後藤

たまプラーザ訪問看護リハビリステーション

〒216-0011 神奈川県川崎市宮前区犬蔵2-8-30-1F

TEL 044-979-1365

FAX 044-979-1360

Eメール info@flight-partners.co.jp

賛 助 会 員 (B会員)**酒井医療株式会社 横浜営業所**

横浜市都筑区勝田南2-18-5

TEL:045-590-5485

昭和大学保健医療学部

横浜市緑区十日市場町1865

TEL:045-985-6500

株式会社 柴橋商会

横浜市神奈川区鶴屋町2-11-5 SGビル

TEL:045-312-5700

株式会社 ヒューマン・アイ

東京都中央区入船2丁目9番3号渥美ビル3F

TEL:03-3537-6266

作業療法総合研究所

横浜市緑区十日市場町1865

昭和大学保健医療学部作業療法学科

TEL:045-985-6537

株式会社モノ・ウェルビーイング

鎌倉市山崎1469-8

TEL:0467-43-7793

**医療法人社団のう教会
脳神経外科 東横浜病院**

横浜市神奈川区羽沢町888番地

TEL:045-383-1121

神奈川県作業療法士会では賛助会員を募集中です。
 お問い合わせ・お申込みは事務局まで!
 (045-663-5997)

財務部からのお知らせ

平成25・26年度分会費の引落しについて

平成26年度分の会費引落しは4月4日(金)となります。年会費は7,000円です。口座残高をお確かめください。通帳には①民間金融機関の場合：RL) カナサギョウリョウホウ②ゆうちょ銀行の場合：自払リコーリースダイコウと表記されます。

なお、平成26年2月17日以降に銀行口座引落しの書類を提出された方は、それまでの未納分と平成26年度分の合計金額が引落としとなります。ご注意ください。

会費の領収書が必要な方は、事務局までご連絡ください。

<口座振替スケジュール>

平成26年02月17日までに書類が提出された場合：04月04日に引落とし

平成26年03月17日までに書類が提出された場合：05月07日に引落とし

編集後記

“第16回WFOT大会2014”も開幕まで残すところ3か月弱になりました。もう早期参加登録は済ませましたか？

今号より、第15回神奈川県作業療法学会に関する記事も始まりました。徐々にそのベールが明らかになっていくものと思われます。その前に、代議員制度という新たな試みも開始されます。次年度も、神奈川県作業療法士会は、活動目白押しです。県士会ニュースでは、皆様にいち早くその活動をご紹介します。ご期待ください！！

komi

一般社団法人 **神奈川県作業療法士会ニュース** <166号> 2014年3月発行(年6回発行)

発行責任者 渡邊慎一

編集責任者 出口弦舞

編集担当 小峰一宏(イムス横浜狩場脳神経外科病院)

山岡洸/岩瀬このみ/桜井大和(佐藤病院)

印刷 発送 第一資料印刷株式会社

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町4-45 第一国際ビル301号 TEL/FAX:045-663-5997

月火水木金 10:00~16:00 メールアドレス:jimu@kana-ot.jp



kana-ot.jp

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト <http://kana-ot.jp>

作業療法 神奈川

検索